

◆研究主題について◆

旭川市立東五条小学校では、これまでに7期18年間に渡って道徳教育を研究対象として研究を行っており、今年度は、「豊かなかかわりを通して 自己の生き方を考える子の育成～道徳科の授業改善を通して」を研究主題に、新たに2年間の研究をスタートさせています。

◆研究授業より◆

研究内容については、大きく分けて2つに設定されており、平成30年度は1つ目である「単位時間のねらいを明確にし、ねらいに応じた指導方法を工夫したり、評価の場面を設定したりして授業改善を図ることで、児童は自分の生活とつなげながら、本気になって自分を見つめることができる」の研究仮説を検証しています。その中で、重点としている項目が・・・

研究内容1ー(1) 本時のねらいの明確化

研究内容1ー(2) 多様な指導方法の工夫

ねらいに基づき、指導方法を工夫したり、発問を吟味したりすることで、児童の道徳的な問題意識を高め、主体的な思考を促す授業づくりを目指す。

研究内容1ー(3) 評価の見取り場面の設定

児童が自己を見つめ、多面的・多角的に考える姿を指導者が見取る評価の場面を設定したり、見取りの方法を工夫したりすることで授業の改善を図り児童が本気で自己を見つめることができる授業づくりを推進していく。

～授業内容から～

詳細については、指導案綴りおよび研究紀要をご覧ください。

○1年生の授業を例に・・・

段階	教師の働きかけ（主な発問）	予想される児童の心の動き	留意点と評価の観点
道徳的価値への方向付け	1 みんなで使う物や場所のマナーを想起させる。 ○みんなで使う物は何でしょう。 ○みんなで使う場所はどこでしょう。 ○みんなで使う物や場所をどのように使っているでしょう。	・ボール ・本 ・掃除用具 ・教室 ・ワークスペース ・トイレ ・きれいに使う ・大切に使う	研究内容1ー(2) 問題意識を高める導入の工夫  道徳的価値への方向付けとして、身近なことを話題にした発問を行うことで、「マナー」を守るとどんなよいことがあるのだろうという問題意識を持たせるために発問構成の工夫をしている。
道徳的価値の内面化	3 教材「そろっているけど」を読んで話し合わせる ◎みんなは、そろっているスリッパを見て、どのような気持ちになったのでしょうか。	①そろえた人 ②次に使う人 ③校長先生	研究内容1ー(3) 評価見取り場面の設定  多面的に考えているかどうかを見取るために、3人の登場人物の立場についてそれぞれ考えノートに記入する。また、その後は自由に移動し、お互いにノートを見せ合う活動を通して、児童の考えの深まりを見取っていた。(よいと思った考えをノートにメモ。)

◆道徳の評価について◆

道徳の評価、特に通知表に記載する評価については、今まで言われている通り、「学習状況および授業における成長の様子」になります。例：「そろっているけど」の学習では、マナーを守るよさについて登場人物に共感しながら考えることができました。交流場面では、友だちと積極的にかかわりを持っていました。